



54年振りに11月に関東に雪が降りました。秋を通り越しての冬。ですが今年は紅葉と雪のコラボレーションを楽しむ事ができました。朝晩は身を切るような寒さです。インフルエンザや胃腸炎も流行り始めました。手洗い、うがい等感染予防に努め元気に過ごしたいと思います。

先日友人から素敵なお手作りの菜と防虫剤を頂きました。银杏の葉を加工したものです。银杏の葉は虫の嫌うキシミ酸を含み防虫剤になるそうで虫食いのない古文書にはすべて银杏の葉が挟みこまれていたということです。古人は自然の中に趣と共に様々な効果を見出していたのだと感心しました。乾燥する冬は衣類の手入れに最適な季節です。休日天気の良い時に私もタンスの引き出し、押し入れの中を片付けようと思います。



調理実習



11月のヘルパーステーションの講習会は調理実習でした。今年のテーマは粉料理。小麦粉、片栗粉、パスタ、季節の野菜、肉を準備しました。寒くなるとご利用様がリクエストされる「すいとん」は必ず作りましょうとお題を提示し後はグループで相談し調理開始。あっという間に美味しくな料理が並びました。片栗粉を上手に使い、肉を柔らかく仕上げたり、とろみをつけたり、また盛り付けにも一工夫、高齢者を気遣った食事作りができました。醤油、味噌とすいとんも様々で

桑へル通信



他グループの味も皆で味わいました。年に1度の調理実習ですが、ヘルパー間のコミュニケーション、そして大切な情報交換の場となっています。健康に過ごすために重要な『食』。ご利用者様だけではなく私達もバランス良く上手に食べ身体機能や免疫力を上げ健康に日々過ごしたいと思います。



一生勉強・一生青春

桑の実会では今年創立40周年を迎えました。先日40周年を記念して保育・介護実践報告会が行われました。当事業所でも日頃の業務での成果『在宅での多職種協働による看取り事例』について発表の場を頂き、今までの振り返り、今後を考える機会となりました。

桑の実会では介護事業部全体で積極的に看取りの取り組みを行っています。当事業所でも今まで20名以上のご利用者の看取りをさせて頂き、お一人お一人の生き方、考え方、その人らしさに触れ、様々なことを教えて頂きました。

『一生勉強と一生青春は一枚の紙の裏表のようなもの。年をとって困ることは身体が固くなるばかりではなくて、頭が固くなること、心が固くなることです。心が固くなると感動、感激がなくなります。一生青春を保つためには心のやわらかさを保つこと。そのためには具体的に何かに打ち込ん

で行くことだと思います。』相田みつをさんの言葉です。生涯の最後の時を支援、介助させていただく中でご縁を感じ、出会いに感謝し、学びを頂き、成長させて頂く。ヘルパーという仕事をする中でたくさんの経験をし、多くの人と語り、共に楽しい時間を過ごす事で、頭も気持ちも柔らかかに、これからもずっと青春でいたいと感じています。また派遣を通じてご利用者様も一生勉強、一生青春の気持ちを忘れずに過ごしていただけたら嬉しいです。

年末年始の営業



毎年当事業所は12月30日から1月3日までお休みをいただいております。ただしご事情によりご希望のあるご利用者様にはご相談に応じ、ヘルパー派遣を行っております。

ご希望の方は調整をさせて頂きますのでできるだけ早急にご連絡をいただけたら幸いです。今年も残すところ1ヶ月となりました。良い年と締めくくれるよう事業所職員一同気を引き締めて頑張ります。よろしくお祈りいたします。



桑の実ヘルパーステーション

電話 04-2921-1174

ホームページ <http://www.kuwanomi.or.jp/>